

取扱説明書

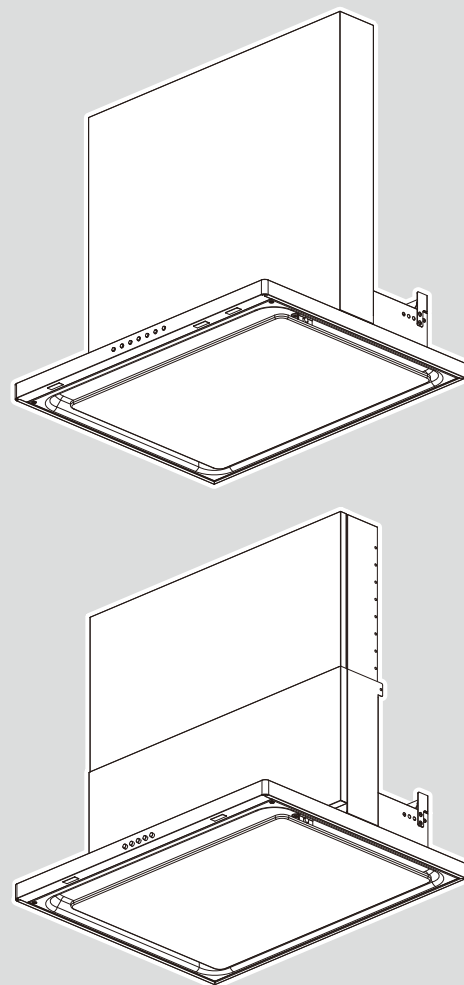
スリム型レンジフード (シロッコファン)

このたびは、レンジフードをお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。



(WNBS-K※※5)

 **WATANABE**
Manufactory Company Limited



もくじ

1. 使用前に	
安全上のご注意	1
各部のなまえ	5
ソフトタッチスイッチの機能	6
2. 使いかた	
使いかた	7
換気連動システム	10
3. 点検・お手入れ・他	
お手入れ	11
故障かな?と思ったら	17
仕様	19
長期使用製品安全表示制度について	20
アフターサービスについて	23

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書は、取付・設置後、施主様へ必ずお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください) ①

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

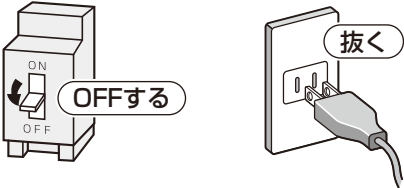
使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

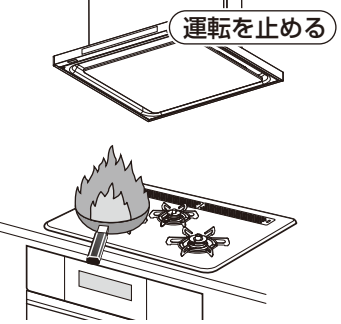
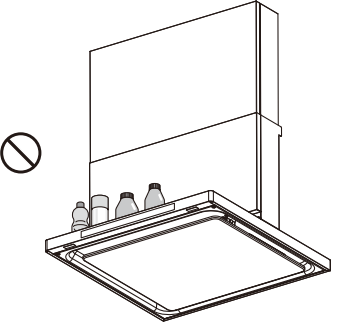
■危害・損害の程度による内容の区分

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

 必ず守る	 アースする	 禁止	 水ぬれ禁止
 ぬれ手禁止	 分解禁止	 接触禁止	

警告			
 必ず守る	・電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 火災の原因になります。	 禁止	・交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。
 禁止	・コンセントや配線器具の定格を超える接続はしない たこ足配線などで定格を超え、発熱し火災の原因になります。	 禁止	・ガス漏れのときは、スイッチを入れたり切ったりしない 引火し、ガス爆発の原因になります。
 水ぬれ禁止	・モーターやスイッチなどの電気部品に洗剤や水をかけない ショートや感電の原因になります。	 分解禁止	・絶対に分解したり、修理・改造はしない ※修理は販売店、工事店、または弊社窓口に相談してください。 火災・感電・けがの原因になります。
 必ず守る	・お手入れの際は、必ずスイッチをロックする ・電源プラグを抜くか、機器用の屋内ブレーカーを切る	 禁止	・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
 ぬれ手禁止	・ぬれた手で行わない 感電やけがの原因になります。	 アースする	・アースを確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電する原因になります。アースの取り付けは販売店に相談してください。
			

警告	
 必ず守る	・調理中、油に火がついたときは運転を止める 火の勢いがより強くなり、火災の原因になります。 
 禁止	・レンジフードの上に物を置かない 落下してけがをしたり、火災や故障の原因になります。 
 禁止	・炎のあがる調理はしない レンジフードの動作により、炎の勢いが強くなり火災の原因になります。
 必ず守る	・長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグを抜くか機器用の屋内ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
 禁止	・電源コードをキズつけたり・無理に曲げたり・引っ張ったり・ねじったり・たばねたり・高温部に近づけたり・重い物を載せたり・挟み込んだり・加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

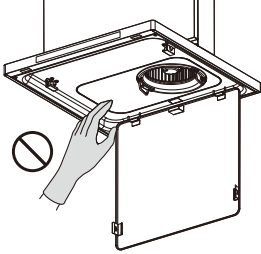
注意	
 禁止	・本体に異常な振動が発生したときは使用しない 機器や部品の落下により、けがの原因になります。
 接触禁止	・調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れない 高温になるため、やけどやけがの原因になります。
 必ず守る	・お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する 金属部品などの切り口や本体の突起、角などでけがの原因になります。
 禁止	・お手入れの際は、換気連動システム(レンジフード連動)に対応したレンジフード連動機能付調理機器を操作しない けがの原因になります。
 禁止	・照明を直接見ない 目がくらんだり、傷めたりする原因になります。
 禁止	・フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない 落下して、けがの原因になります。
 必ず守る	・お手入れは、整流板やファン、オイルトレイなどの部品が十分冷めてから行う やけどの原因になります。
 必ず守る	・お手入れの際、ファンやオイルトレイなどの部品を落とさないように両手でしっかりと支える 落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください) ②

⚠ 注意

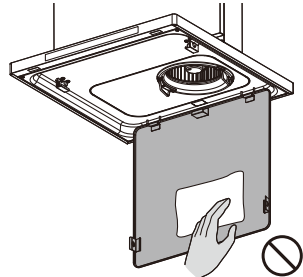
接触禁止

・ 運転中や停止後、ファンが回転している間は、ファン、オイルトレイなどの中に指や物を入れない
けがの原因になります。



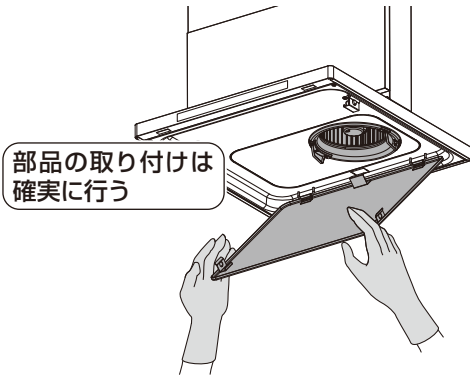
禁止

・ 整流板を本体から取り外さずにぶら下げた状態ではお手入れをしない
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります。



必ず守る

・ お手入れの際に外した整流板やファン、オイルトレイなどの部品の取り付けは確実に
落下により、けがの原因になります。



お願い

■ 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。
運転しないとレンジフード内の温度が上がり、機器の損傷や高熱による故障の原因になります。

■ 調理機器の空だきは絶対にしないでください。
機器の損傷や高熱による故障の原因になります。

■ IHクッキングヒーター(電気コンロ)使用時、レンジフードがあたたまりにくいため、結露が生じる場合があります。
とくに冬期など気温が低い状況では結露しやすくなりますので、こまめにふき取ってください。

■ 赤外線受信部と照明器具を近づけすぎないでください。
照明器具が赤外線受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■ レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。
給気が不足すると、換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する原因になります。
とびらが開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■ グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る排気によって、壁パネルが結露することがあります。
結露した場合は、ふき取って使用してください。

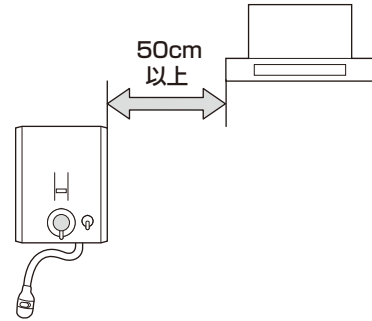
■ 運転中に電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切らないでください。
突然通電が遮断されると、お手入れサインを正しくお知らせできなくなります。

お願い

■ LED照明を点灯しているときに、近くでテレビやラジオを使用すると、雑音が入る場合があります。
その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください。

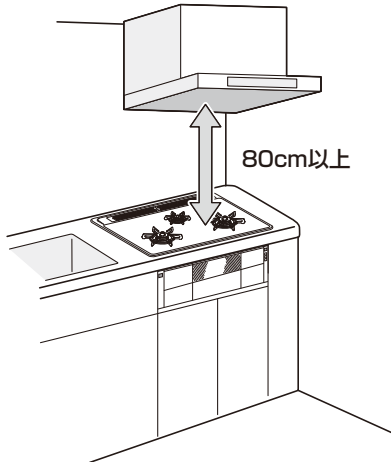
■ エアコン、扇風機などの風が直接当たらないようにしてください。
風の影響で吸い込みが悪くなります。

■ 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください。
機器の損傷や高熱による故障の原因になります。



■ 気温が低いときに使用されるとレンジフードの表面が結露することがあります。
結露した場合は、ふき取って使用してください。

■ 調理機器の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください。
火災予防のため、レンジフードの下端から調理機器の上端まで80cm以上(調理機器が防火性能評価品の場合は、60cm以上)が必要です。



■ ファンを取り外した状態で、レンジフードを運転しないでください。
機器の損傷や高熱による故障の原因になります。

3

4

各部のなまえ

本 体

※1：イラストは、左排気仕様で説明しています。

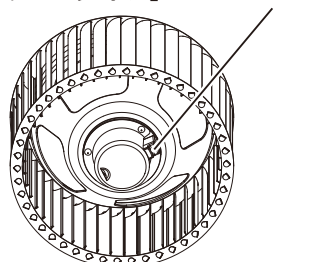
右排気仕様の場合は、化粧板の開口、ファンの位置が左右逆になります。

※2：通気口位置は、仕様によって上方に付く場合と、下方に付く場合があります。

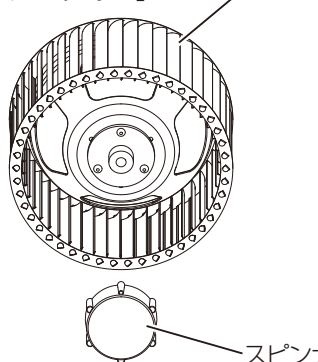
換気連動システム (レンジフード連動)

レンジフード連動付調理機器との組み合わせにより、調理機器と連動させることができます。適応する調理機器については販売店にご相談ください。

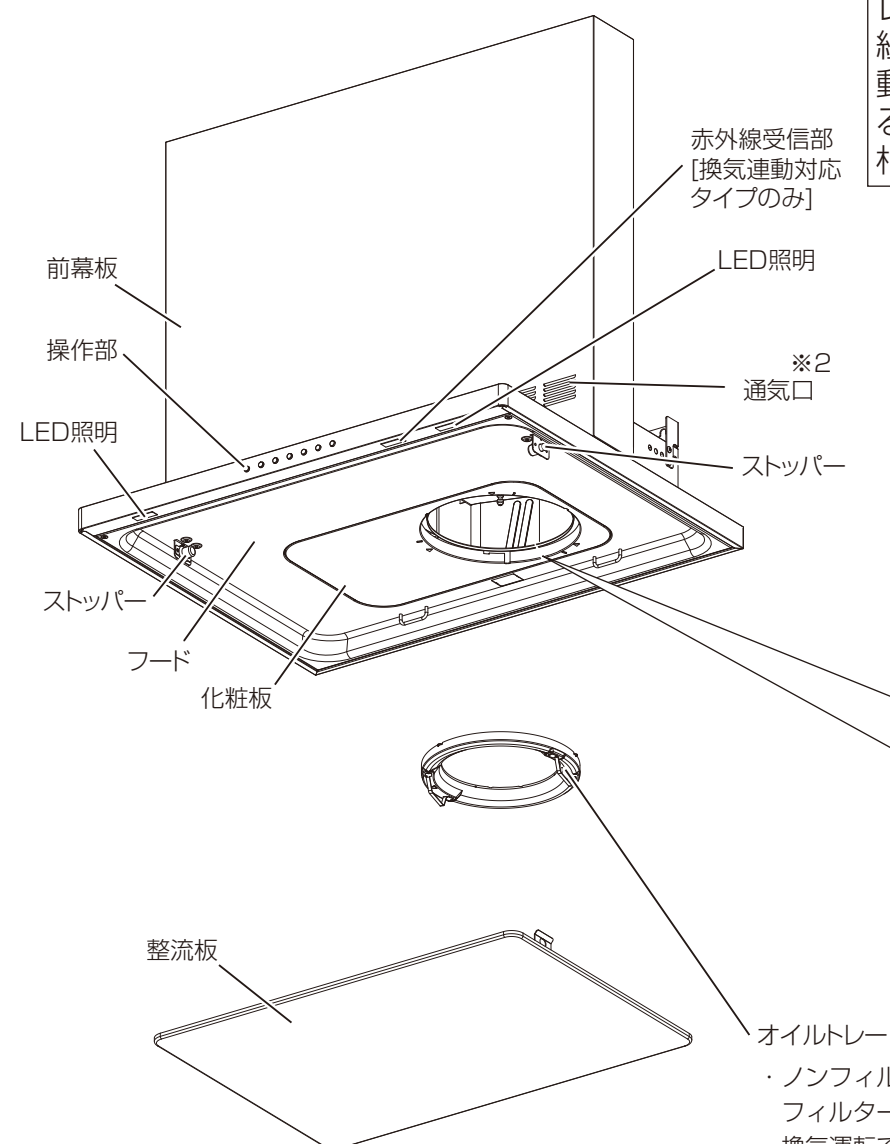
【ワンプッシュタイプ】



【スピナータイプ】



※機種によってファンの仕様は異なります。



オイルトレイ

- ・ノンフィルター仕様のため、フィルターはありません。
- ・換気運転で吸い込んだ油の一部をオイルトレイにためます。

※使用状態により、オイルトレイに油がたまらない場合がありますが、異常ではありません。

ソフトタッチスイッチの機能

●切り忘れ防止機能

- ・最後に操作をしたときから、約5時間後に運転を自動で停止し、照明も消灯します。

●ロック

- ・運転と照明などのスイッチ操作をロックさせ、安全な状態で操作部のお手入れができます。
- ・ロック設定時は全てのスイッチを受け付けません。

※運転中や照明点灯中に切スイッチを3秒以上長押しすると、運転が停止し、照明は点灯したままロック設定になります。

－ ロック設定・ロック解除方法

設定方法：切スイッチを3秒以上長押しすると、ブザー音が鳴り、ロック状態になります。

解除方法：切スイッチを3秒以上長押しすると、ブザー音が鳴り、ロックが解除されます。

●自動停止機能

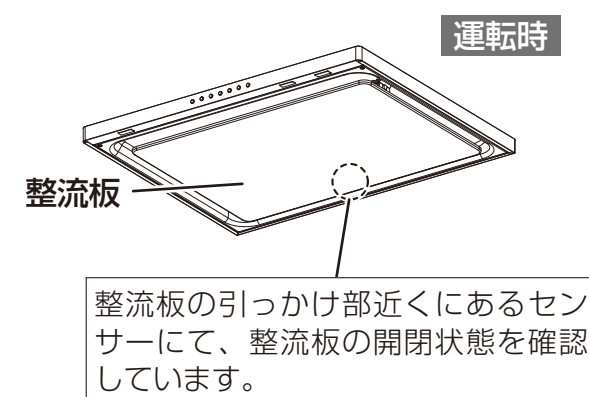
- ・運転中に整流板を外すと、ブザー音が鳴り、自動で運転が停止します。LED照明が点灯している場合は、消灯しません。運転中でも停止するため、安全な状態でお手入れができます。

※自動停止後もファンが止まるまでに約40秒かかります。

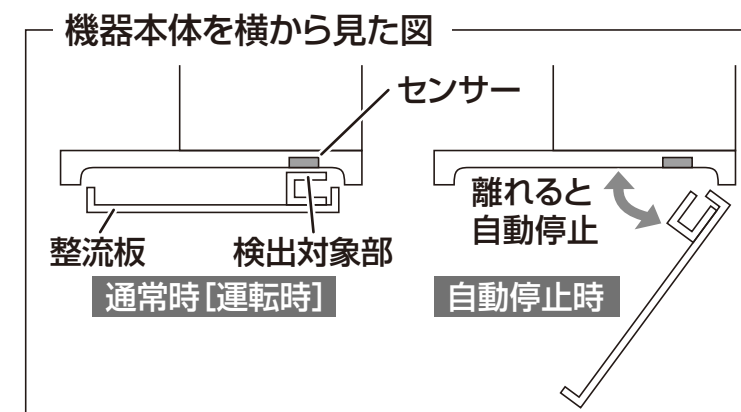
※ブザー音が鳴っている途中で、整流板を取り付けた場合、ブザーが停止します。

- ・整流板取り付け時に、整流板が正しくストッパーに取り付けられていないと運転できません。

※整流板取り付け時、運転は自動で再開しません。



整流板の引っ掛け部近くにあるセンサーにて、整流板の開閉状態を確認しています。



使いかた

■ソフトタッチスイッチ

操作部



①切スイッチ・ロック

- ・運転を停止します。
- 切スイッチを押す。



※運転が停止したことを確認してください。

・スイッチのロック／ロック解除方法

ロックするとき

- 切スイッチを押す。



ロック解除するとき

- 切スイッチを押す。



②風量スイッチ

- ・任意の風量で運転を開始します。
- ・風量を切り替えます。
- 風量スイッチを押す。



※運転中に風量スイッチを押すと風量を切り替えることができます。



- 【弱】：静かに運転したいとき(油煙の少ないとき)
- 【中】：通常の運転のとき
- 【強】：早く換気したいとき(油煙の多いとき)

※レンジフード連動機能付調理機器を使用する場合は、10ページを参照してください。

③タイマースイッチ

- ・運転中にタイマー設定することができます。
- ・5分が経過すると運転を停止します。
- タイマースイッチを押す。



- ※照明のタイマー設定はできません。
- ※タイマー動作中にタイマースイッチを押すとタイマーを解除します。
- ※タイマー設定が解除の場合でも、約5時間後に運転を自動で停止します。
- ※レンジフード連動機能付調理機器を使用する場合は、10ページを参照してください。

運転前のお願い

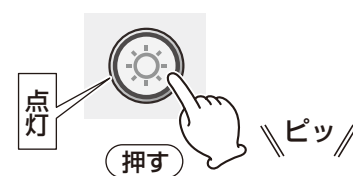
- 整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取り付けられていること、ストッパーがはまっていることを確認してください。
- ※確実に取り付けられていない場合、自動停止機能が作動し、運転・風量を押しても、『ピピー』とブザー音が鳴り、操作を受け付けません。(照明は除く。)
- ※運転中に整流板が外れた場合は、運転を停止させ、弱・中・強の表示LEDが点滅します。

④照明スイッチ

- ・LED照明の点灯／消灯をします。

LED照明を点灯するとき

- 照明スイッチを押す。



LED照明を消灯するとき

- 照明スイッチを押す。



⑤常時換気スイッチ

- ・調理後、住宅の換気など、連続運転することができます。
- ・常時換気は風量(弱)運転よりも少ない風量で換気したいときにも使用できます。

常時換気を行うとき

- 常時換気スイッチを押す。



常時換気を停止するとき

- 常時換気スイッチを3秒以上長押しする。



- ※運転・風量スイッチによる風量運転が優先されます。
- ※切スイッチにて換気「弱」「中」「強」運転を停止すると、常時換気に戻ります。
- ※建築基準法による住宅の常時換気を行う設備としても使用できます。

使いかた

■押しボタンスイッチ

運転前のお願い

整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取り付けられていること、ストッパーがはまっていることを確認してください。

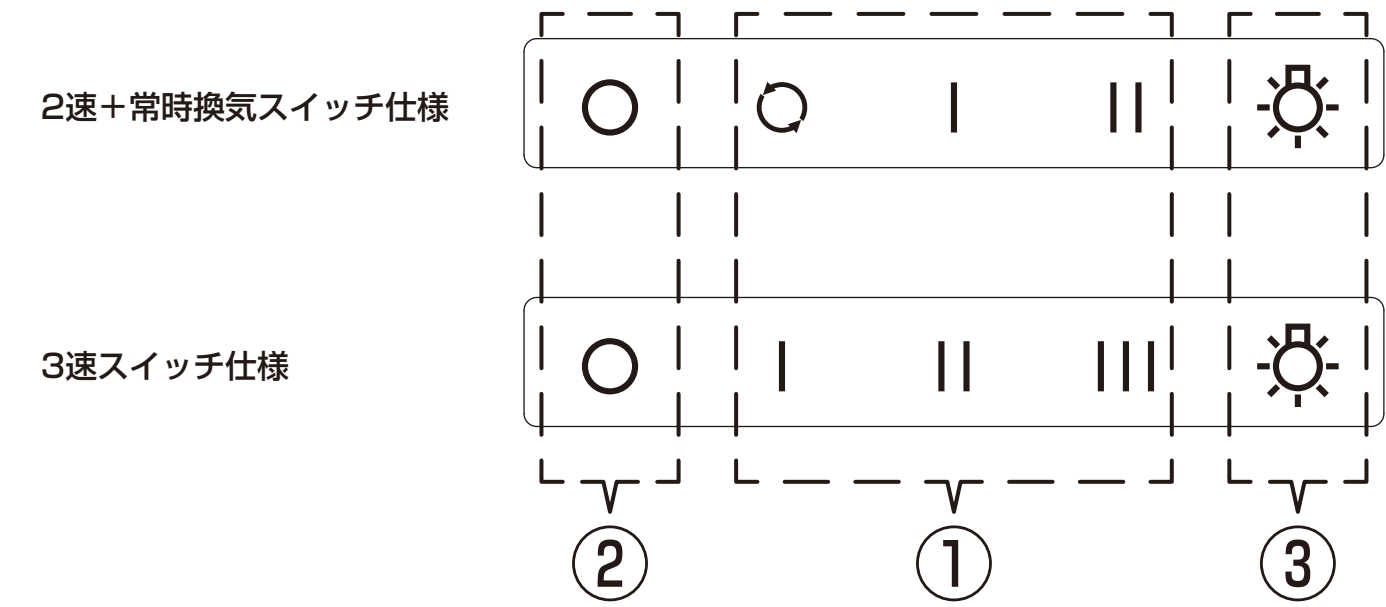
⚠

警告

・整流板が外れても、運転(ファンの回転)は自動で止まりません。けがの原因になります。

操作部

※スイッチ表記については、異なる場合もございます。



①運転・風量スイッチ

- 押すと運転を開始します。
- 風量を切り替えます。
- ⌚：調理後、住宅の換気など、連続運転することができます。(通常の運転よりも少ない風量で換気をしたいとき)
- I：静かに運転したいとき(油煙の少ないとき)(2速仕様の場合：通常の運転のとき)
- II：通常の運転のとき(2速仕様の場合：早く換気したいとき)
- III：早く換気したいとき(油煙の多いとき)

②切スイッチ

- 押すと運転を停止します。

③照明スイッチ

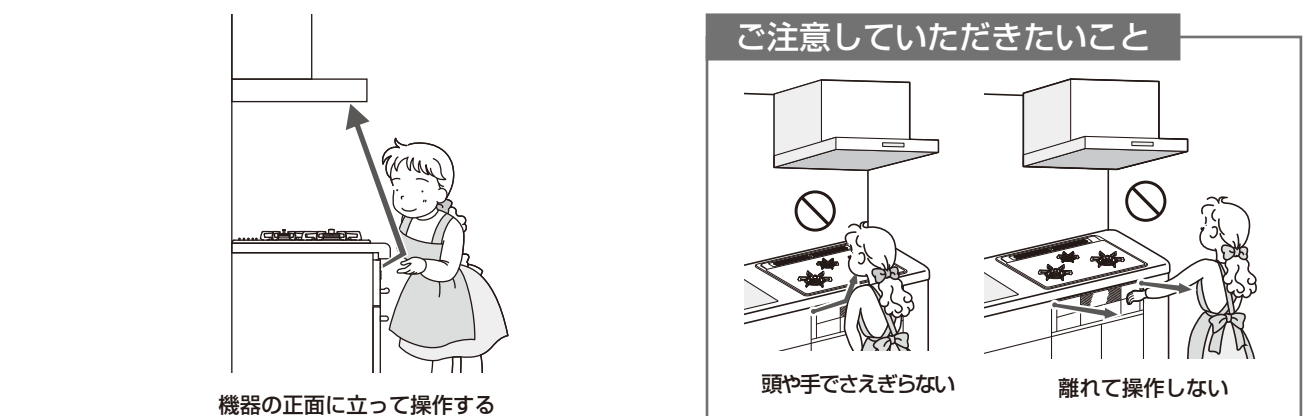
- 押すと照明が点灯します。
- 押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

換気連動システム

(レンジフード連動付調理機器をご使用の場合)

●換気連動システム：換気連動対応タイプのみ

- ・調理機器から送信される赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転や停止を行います。
- ・調理機器から約20～40cm離れ、機器の正面に立って操作してください。



調理機器の操作	レンジフードの動作(自動)	レンジフード側で可能な操作(手動)
	運 転	
入 (点火)	中速で運転を開始する。	運転スイッチ：風量切替 切スイッチ：運転停止 照明スイッチ：照明の入/切 タイマースイッチ：タイマー設定
切 (消火)	タイマー運転(5分)を開始する。 ※1※2	

- ※1：調理機器の消火操作(切)を行っても、他のコンロやグリルを使用している場合、レンジフードは停止しません。
- ※2：調理機器の消火操作(切)をした際に、タイマー設定に切り替わり、タイマー設定時間経過後、停止します。
※タイマー設定の解除は、タイマースイッチを押して解除に切り替えてください。
すぐに運転を止めるには、切スイッチを押して終了してください。
- *対応する調理機器はNECフォーマットの赤外線信号(38kHz)を発信する機種に限定されます。詳しくは調理機器メーカーにお問い合わせください。
- *レンジフードがロック状態では、調理機器のスイッチを操作してもブザー音が鳴り、運転を開始しません。ロックを解除してください。(7ページ参照)

お手入れ①

**警告**

**必ず守る**

- ・お手入れの際は、必ずスイッチをロックする
- ・電源プラグを抜くか、機器用の屋内ブレーカーを切る

**ぬれ手禁止**

- ・ぬれた手で行わない
感電やけがの原因になります。

**水ぬれ禁止**

- ・モーターやスイッチなどの電気部品に洗剤や水をかけない
ショートや感電の原因になります。

**注意**

**必ず守る**

- ・お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する
金属部品などの切り口や本体の突起、角などでけがの原因になります。

**接触禁止**

- ・運転中や停止後しばらくの間は、ファン、オイルトレイなどの中に指や物を入れない
けがの原因になります。

**必ず守る**

- ・お手入れの際は、整流板やファン、オイルトレイなどの部品が十分冷めてから行う
やけどの原因になります。

**必ず守る**

- ・お手入れの際に外した整流板やファン、オイルトレイなどの部品の取り付けは確実に行う
落下により、けがの原因になります。

お手入れ洗剤・道具などについて

使ってよい  使ってはいけない	 スポンジたわし  やわらかい布  やわらかい歯ブラシ  台所用中性洗剤	
	キズの原因になるもの  ナイロンたわし  クレンザー  亀の子たわし  ミガキ粉  金属たわし  硬い歯ブラシ  スポンジたわし裏面	※部品・塗装の表面にキズがつき、はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。 ※研磨剤などがファンの中に入り、ワンプッシュファンのレバーの操作不良、ファンの脱着不良の原因になります。
	変質の原因になるもの  漂白剤、酸性洗剤、アルカリ性洗剤  シンナー、ベンジン、アルコール  弱酸性洗剤、弱アルカリ性洗剤 ○食器洗い乾燥機の使用	※部品、塗装の表面が変質し、はがれ、変色、さび、樹脂部品の割れの原因になります。 ※ファンが変質し、ワンプッシュファンのレバーの操作不良、ファンの脱着不良の原因になります。 ※食器洗い乾燥機で高温洗浄することにより、変色や変質し、ワンプッシュファンのレバーの操作不良、ファンの脱着不良の原因になります。
	キズ、変質の原因になるもの  歯みがき粉  クリームクレンザー  重曹 重曹	※部品、塗装の表面が変質し、キズ、変色、さび、樹脂部品の割れの原因になります。 ※研磨剤などがファンの中に入り、ワンプッシュファンのレバーの操作不良、ファンの脱着不良の原因になります。
	故障の原因になるもの  スプレー式洗剤	※直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。
火災の原因になるもの  可燃性スプレー、浸透液、潤滑剤	※引火するので、絶対に使用しないでください。	

お手入れ②

お手入れするときのお願い

- ・部品の変色、変質、変形防止のため、高温(手を洗えない温度)の湯で、つけ置き洗いや食器洗い乾燥機の使用などはしないでください。
- ・早めにお手入れしてください。
※汚れを長期間放置すると汚れが落ちにくくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。
- ・お手入れするときは調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。
- ・高いところでの作業は、足元に十分注意してください。
- ・ファンを取り外した状態で、レンジフードを運転しないでください。
※機器の損傷や高熱による故障の原因になります。

◎お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する

日常のお手入れ

お手入れの目安：ご使用のたびに

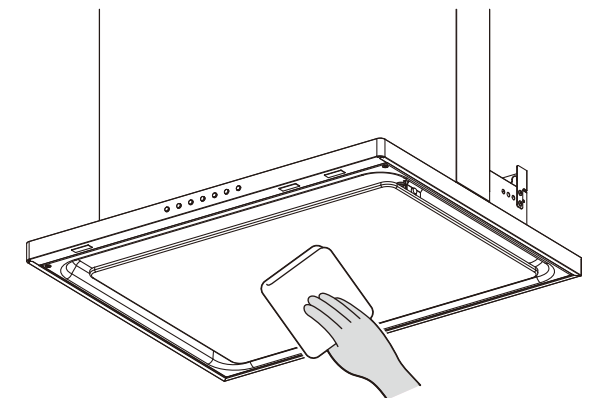
お手入れ方法

整流板

水分を含ませたスポンジ、ふきんなどで表面の汚れをふき取る。

レンジフード本体

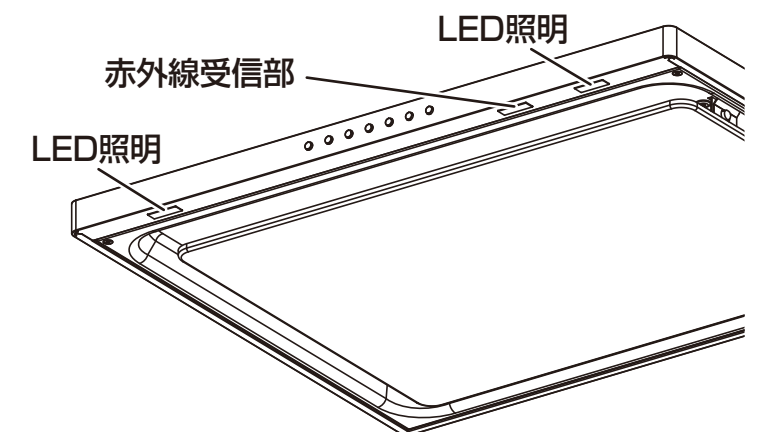
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取り、からぶきする。



LED照明・赤外線受信部(換気連動対応タイプのみ)のお手入れ

お手入れ方法

- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。
- その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布で洗剤をよくふき取る。
- ※レンジフード連動機能付調理機器をご使用の場合は、調理機器側の送信部の汚れをふき取ってください。
油汚れを放置すると受信性能が低下します。



お手入れ③

◎お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する

整流板のお手入れ

・汚れが気になる場合は、ご使用の都度お手入れしてください。

お手入れの目安：3ヶ月に1回程度

取り外しかた

1. 整流板を両手で支え、整流板の左右のストッパーを押してゆっくり外す。
2. 整流板を約20cm開けて奥に押し、整流板の引っ掛け部（奥2カ所）を取り外す。

お願い

・整流板がオイルトレイに当たらないようにしてください。
※オイルトレイに当たると、オイルトレイが落下するおそれがあります。

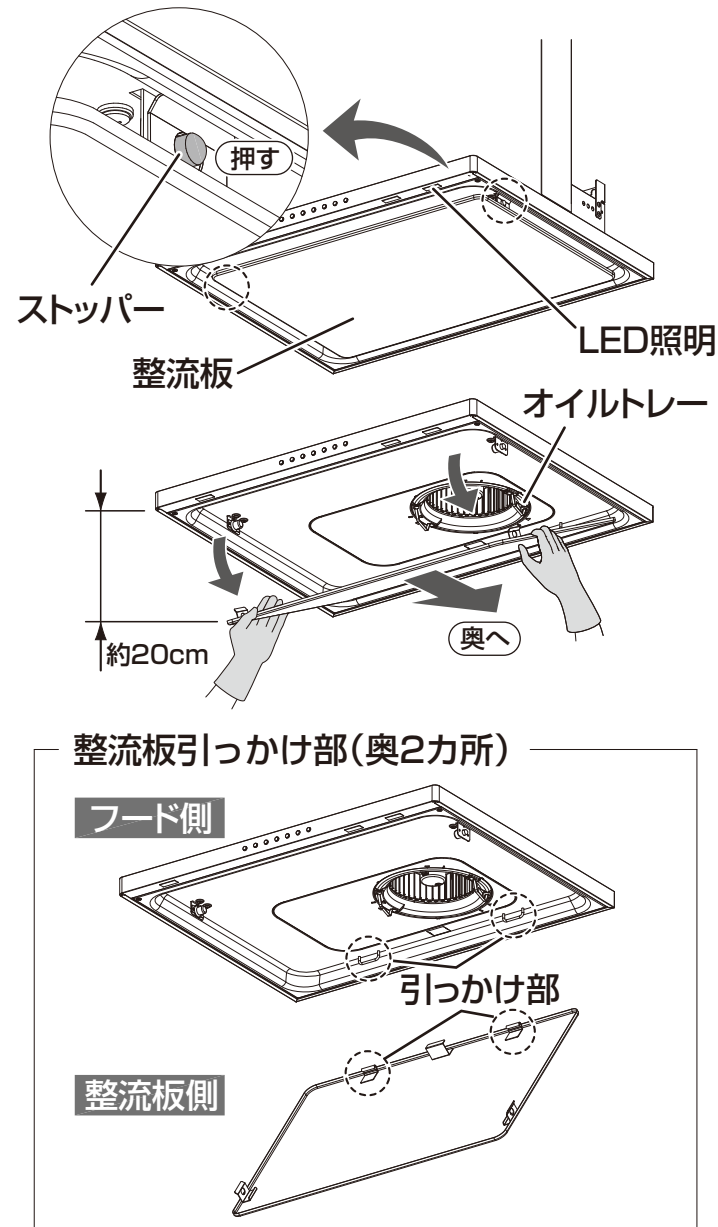
※必ず左右同時に取り外してください。整流板の引っ掛け部（奥2カ所）が変形する原因になります。
※油や結露が整流板内にたまっていることがありますので、整流板を取り外すときは内側を確認し、たまった油や結露をキッチンペーパーなどでふき取ってください。

お手入れ方法

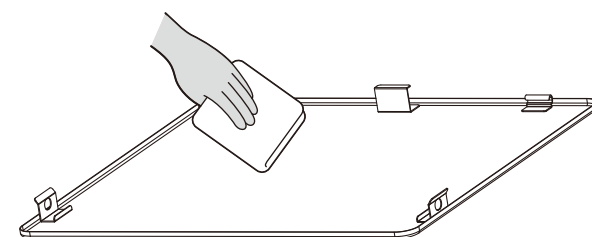
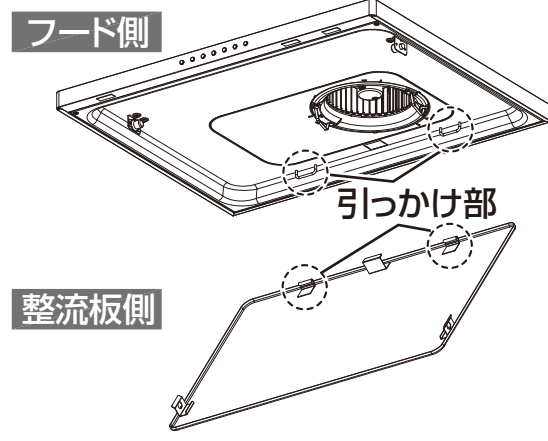
- 水分を含ませたスポンジ、ふきんなどで汚れをふき取る。
- がっこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジ、やわらかい歯ブラシなどで汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い

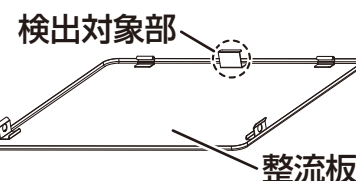
・外した整流板は平らな場所でお手入れをしてください。変形・キズの原因になります。
※ソフトタッチスイッチ仕様の場合
整流板が変形し、正しく取り付けられていないと、自動停止機能が作動し、運転できなくなります。（自動停止機能は、6ページを参照してください。）



整流板引っ掛け部（奥2カ所）



変形不可

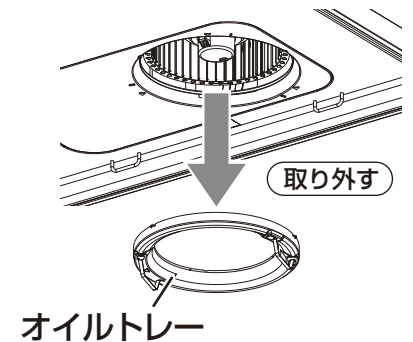


整流板のお手入れ

お手入れ方法

⚠注意

・レンジフード内側のお手入れは、オイルトレイを取り外してからふき取る
オイルトレイを取り付けたままお手入れすると、オイルトレイが外れて、油がたれるおそれやオイルトレイの落下により、キズや変形の原因になります。（オイルトレイの取り外しかたは、15ページを参照してください。）

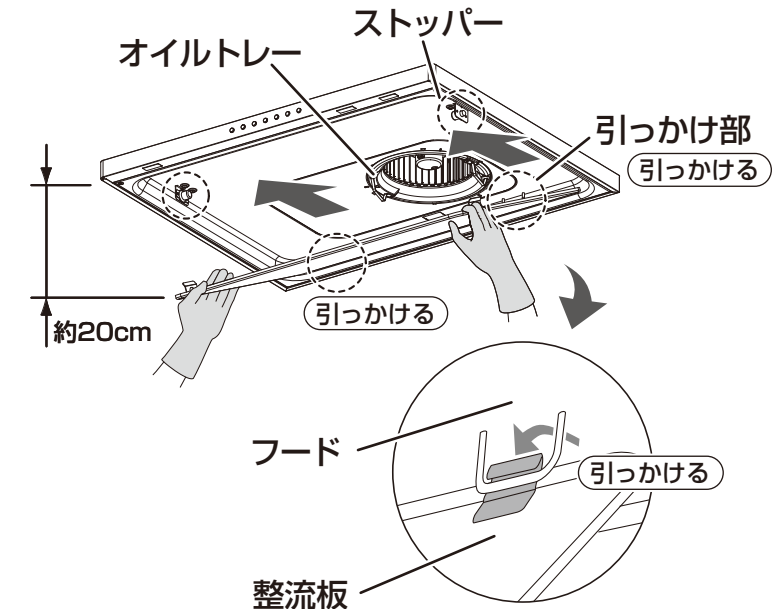


取り付けかた

1. 整流板を両手で支え、約20cm傾けた状態で、フードの引っ掛け部（奥2カ所）に整流板の引っ掛け部（奥2カ所）を手前に引いて、確実に引っかける。

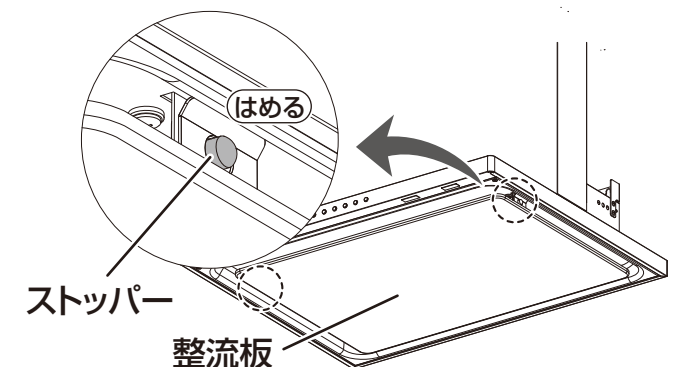
お願い

・整流板がオイルトレイに当たらないようにしてください。
※オイルトレイに当たると、オイルトレイが落下するおそれがあります。



2. 整流板の手前を上を持ち上げ、左右のストッパーにはまるまで押し込む。

ソフトタッチスイッチの場合
整流板が正しくストッパーに取り付けられないと、自動停止機能により、運転できません。



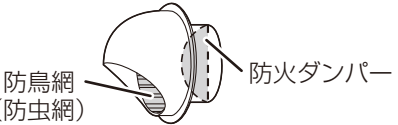
3. 整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取り付けられていることを確認する。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう1度お調べください。

処置をしても異常がある場合は使用を中止して、販売店または、弊社窓口に連絡してください。

症 状	考えられる原因	処置方法	参照 ページ
●スイッチを押しても電源が入らない ●ファンが回らない ●運転しない	○機器用の屋内ブレーカーが「切」になっている ○整流板が正しく取り付けしていない（ソフトタッチスイッチの場合） ○【ロック】設定状態になっている（ソフトタッチスイッチの場合）	●機器用の屋内ブレーカーを「入」にしてください ●整流板を正しく取り付けください（ソフトタッチスイッチの場合） ●【ロック】設定を解除してください（ソフトタッチスイッチの場合）	— 14 6
換気連動システム対応タイプ ●換気連動しない 調理機器を「点火（加熱）・消火（切）」してもレンジフードが動作しない	○調理機器の電池が消耗している ○調理機器の電池の向きが間違っている ○調理機器の赤外線発信部・レンジフードの赤外線受信部が油で汚れている ○ロック状態になっている ○黒い服を着て操作すると動作しないことがある ○テレビやエアコンなどのリモコンを操作しているときは、動作しないことがある ○調理機器側の異常	●調理機器の電池を交換してください ●調理機器の電池を正しく入れてください ●調理機器の赤外線発信部・レンジフードの赤外線受信部をお手入れしてください ●【ロック】設定を解除してください ●調理機器側の取扱説明書を確認してください	— — 12 6 — —
●LED照明がつかない	○LED照明が切れている ○機器用の屋内ブレーカーが「切」になっている	●ご自身で交換できません 部品交換は販売店または、弊社窓口に依頼してください ●機器用の屋内のブレーカーを「入」にしてください	— —
●ワンプッシュファンが外れない	○レバーを最後まで押せていない ○油やほこりなどでかたまっている	●レバーの取付確認表示【赤色】が隠れるところまで、レバーを押し込んでください	15
●ワンプッシュファンが取り付けできない	○ワンプッシュファンの裏面の溝とモーターのシャフトピンとの向きが合っていない ○ワンプッシュファンのシャフトが入る穴に異物が詰まっている ○誤ったお手入れでファンが変形・変質している ・食器洗い乾燥機などで洗っている ・研磨剤入りの洗剤（クリームクレンザーなど）を使用している	●ワンプッシュファン裏面の溝とシャフトピンの向きを合わせて取付確認表示【赤色】が出るまでファンを差し込んでください ●ワンプッシュファンのシャフトが入る穴に水を入れて十分すすいでください ●ワンプッシュファンを水に入れた容器に浸してすすいでください ●修理を依頼してください 部品交換は販売店または、弊社窓口に依頼してください	16 15 15 15
●ファン（スピナータイプ）が外れない	○スピナーを逆方向に回している	●スピナーを「ユルム」の方向に回してください （※片手でファンを支えて行ってください）	15

症 状	考えられる原因	処置方法	参照 ページ
●ファン（スピナータイプ）が取り付けできない	○ファンのシャフトが入る穴に異物が詰まっている ○誤ったお手入れでファンが変形・変質している ・食器洗い乾燥機などで洗っている ・研磨剤入りの洗剤（クリームクレンザーなど）を使用している	●ファンのシャフトが入る穴に水を入れて十分すすいでください ●ファンを水に入れた容器に浸してすすいでください ●修理を依頼してください 部品交換は販売店または、弊社窓口に依頼してください	15 15
●ワンプッシュファンの取り付け時にワンプッシュファンの取付確認表示【赤色】が見えない	○レバーが戻ってこない ○取付確認表示が汚れて【赤色】が見えない	●ワンプッシュファン取り付け時にワンプッシュファンを奥まで押し込んでください ●ワンプッシュファンが取り付けいた状態で、レバーの取付確認表示【赤色】部の汚れをふき取ってください 	16 —
●オイルトレイに油がたまらない	○整流板や本体に油がついている ○油料理の頻度や気候により、油のたまり具合が異なる	●整流板や本体についた油は、その都度お手入れしてください ●オイルトレイに油がたまってから捨ててください	12～13 15
●異音がする	○オイルトレイの取り付けが不十分 ○ファンの取り付けが不十分 ○外からの給気が十分でない	●オイルトレイを正しく取り付けてください ●ファンを正しく取り付けてください ●窓・給気口を開け、十分な給気を確保してください	16 16 —
●吸い込みが悪い	○外からの給気が十分でない ○エアコンや扇風機などの風で煙が横にもれる ○屋外のベントキャップの防鳥網（防虫網）が目詰まりしている ○屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない 	●窓・給気口を開け、十分な給気を確保してください ●エアコンや扇風機などの風が当たらないようにしてください	— —

仕 様

●常時換気有り

電圧 (V)	周波数 (Hz)	風量切替	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)	騒音 (dB)
100	50	強	93	510	48
		中	40	270	33
		弱	28	190	25
		常時換気	20	130	19
	60	強	99	490	47
		中	41	240	33
		弱	29	180	24
		常時換気	20	120	19

●常時換気無し

電圧 (V)	周波数 (Hz)	風量切替	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)	騒音 (dB)
100	50	強	93	510	48
		中	40	270	33
		弱	28	190	25
	60	強	99	490	47
		中	41	240	33
		弱	29	180	24

- ・消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
- ・騒音値、風量は実際の使用条件で変化しますので、ご了承ください。
- ・レンジフードは使用していないときでも約1Wの電力を消費しています。

長期使用製品安全表示制度とは、長期間使用されることが多いために、経年劣化による重大事故が一定程度発生している製品について、経年劣化によるリスクの注意喚起を行う表示を義務付ける制度です。

● 本体への表示内容について ●

経年劣化により事故発生の危険度が高くなることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。
※表示シールの【製造年】の年数については、随時更新されます。


【製造年】20※※年 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがあります。

● 設計上の標準使用期間について ●

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※ 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の＜設計上の標準使用期間の算定根拠＞参照。）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

＜設計上の標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

“使用条件”

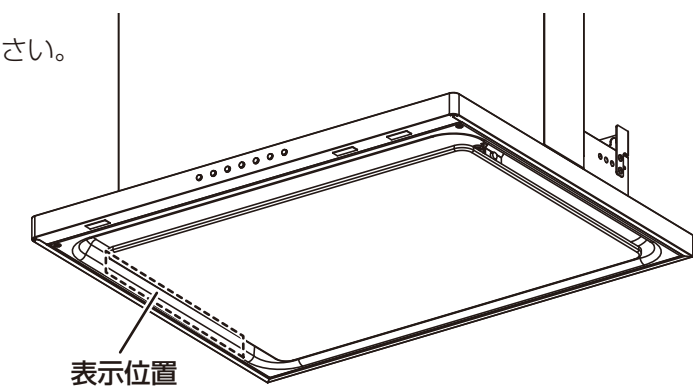
環境条件	電 圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温 度	20℃(JIS C 9603参照)
	湿 度	65%(JIS C 9603参照)
	設置条件	標準設置(取付・設置説明書による)
負荷条件	定格負荷(換気量)(取扱説明書による)	
想定時間	1年の使用時間	注)換気時間 台所 2410時間/年
注)常時換気(24時間連続換気)のものは、8,760時間/年とする。		

＜ご注意ください＞

- ・本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- ・製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境で使された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

● 表示位置について ●

本体に表示しています。
右記の [] 部を確認してください。



メモ

メモ

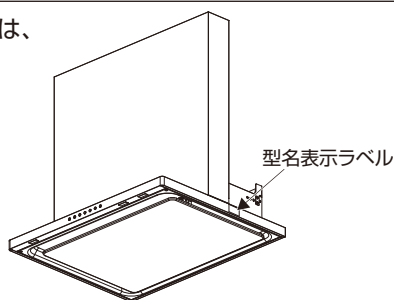
アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、電源プラグを抜く又は、分電盤のブレーカーを切ってからお買い上げの販売店・工務店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品 名	スリム型レンジフード
型 名	表示位置は下記を参照してください
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	出来るだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、
本体下部に表示
しています。



機種により位置が異なる
場合があります。

修理料金の仕組み

- 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等が含まれています。
- 出張料
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

商品の保証期間

- 商品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
 1. 取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
 2. 設置後の改造、移動、その他変更により生じたもの
 3. 火災、地震、その他天災地変により生じたもの

補修用性能部品の保有期間

- レンジフードの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は

- ご不明な点はお買い上げの販売店・工務店または弊社にご相談ください。

愛情点検	●長年ご使用の換気扇の点検を! ご使用の際 このようなことは ありませんか ●スイッチを入れてもファンが回転しない。 ●運転中に異常音や騒音がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ●こげ臭いにおいがする。 ●その他異常を感じる場合。	換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。 使用中止 故障や事故防止のため電源プラグを抜くか、又は分電盤のブレーカーを切って必ず販売店・工務店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店・工務店にご相談ください。
---------------	---	--

△安全に関するご注意 ●フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名

電話

()

ご購入年月日

年

月

日



WATANABE
Manufactory Company Limited

株式会社 渡辺製作所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-11
カンケン京橋ビル5F

■東京支店 TEL(03)3538-6690 FAX(03)3538-6691